

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	石狩空知森林計画区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、北海道の中央部よりやや西寄りに位置する石狩空知森林計画区の国有林野212,436haである。</p> <p>この地域は、朝里岳(1,281m)、無意根山(1,464m)、漁岳(1,318m)、恵庭岳(1,320m)を主峰として、豊平川、千歳川、漁川等の集水域となっている山地で、トドマツ・エゾマツ・ミズナラ・カンパ類等が混交する天然林とトドマツ・アカエゾマツ等の人工林で構成されている定山溪・千歳地域と、日本海に面する海岸線から内陸に位置し、カンパ類・ミズナラ等を主とする広葉樹の天然林が多く、一部トドマツ・カラマツの人工林で構成されている浜益・厚田・当別・積丹地域からなる。</p> <p>これらの森林については、ほぼ全域が保安林となっており、札幌市をはじめとした都市圏の水源地として、また、基幹産業である農業の振興や漁場の保全に資する観点で重要な役割を担っていることから、水源かん養機能の発揮が求められている。また、森林や湖沼、海岸など自然美に富んだ景勝地が多く、支笏洞爺国立公園をはじめ、ニセコ積丹小樽海岸国立公園並びに野幌森林公園が道立自然公園に指定されていること等から、登山やスキー、森林散策などのレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、支笏洞爺国立公園や野幌森林公園道立自然公園の森林については、人工林を主体に、平成16年の台風18号により多大な風倒被害を受けたところであり、大部分の処理は終了したものの、森林の有する機能の発揮の観点から、その跡地の早期復旧が求められている。さらに、藻岩山や円山などの森林については、都市近郊の身近な自然として、その保全や森林とのふれあいに対する期待が高まっている。</p> <p>なお、これらの地域に所在する森林は、それ自体が炭素の貯蔵庫であり、適切な森林の整備及び保全とこれらを通じて供給される木材の有効利用を図ることが必要である。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">217 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">23,216 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">104.0 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">1.8 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,765,266 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	217 ha			保育面積	23,216 ha		路網整備	開設延長	104.0 km			改良延長	1.8 km	総事業費			2,765,266 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	217 ha																				
		保育面積	23,216 ha																				
	路網整備	開設延長	104.0 km																				
		改良延長	1.8 km																				
総事業費			2,765,266 千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	20,677,030 千円																					
	総費用(C)	4,711,639 千円																					
	分析結果(B/C)	4.39																					
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考えている。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能(特に水源かん養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	石狩空知森林計画区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、北海道の中央部よりやや西寄りに位置する石狩空知森林計画区の国有林野166,013haである。</p> <p>この地域は、夕張岳(1,668m)、芦別岳(1,727m)を主峰として、空知川、幾春別川、夕張川等の集水域となっている山地で、トドマツ・エゾマツ・ミズナラ・カンバ類等が混交する天然林を主体とし、一部トドマツ・アカエゾマツ等の人工林で構成されている。</p> <p>これらの森林については、ほぼ全域が保安林となっており、桂沢湖、シューパロ湖をはじめ、多くの飲料用、農業用水等の貯水施設があることから、上流部にある国有林野は、その水源地として水源かん養機能の発揮が期待されている。</p> <p>また、森林や湖沼など自然美に富んだ景勝地が多く、富良野芦別道立自然公園等に指定されている夕張岳、芦別岳、桂沢湖及びシューパロ湖周辺等の森林、都市近郊林である利根別自然休養林等については、豊富な高山植物や優れた自然景観を有し、保健文化機能の発揮が期待され登山やスキー、森林散策などのレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。さらに、石狩平野の防風保安林については、気象害による環境の悪化防止等の機能の発揮が求められている。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">350 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">13,538 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">118.9 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">0.4 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">6,421,635 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	350 ha			保育面積	13,538 ha		路網整備	開設延長	118.9 km			改良延長	0.4 km	総事業費			6,421,635 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	350 ha																				
		保育面積	13,538 ha																				
	路網整備	開設延長	118.9 km																				
		改良延長	0.4 km																				
総事業費			6,421,635 千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	27,094,556 千円																					
	総費用(C)	7,550,577 千円																					
	分析結果(B/C)	3.59																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考える。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能(特に水源かん養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	上川北部森林計画区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、北海道の中央からやや北の内陸部に位置する上川北部森林計画区の国有林野164,158haである。</p> <p>この地域は、天塩川の支流である安平志内川等の両岸に位置した南北に長い地域と天塩岳(1,558m)、ウエンシリ岳(1,142m)を主峰として、天塩川、名寄川等の集水域となっている山地で、森林の7割がミズナラ・シナノキ・カンパ類を主体とし、トドマツ・エゾマツ等が混交する天然林で占められ、3割は主に昭和30年代以降に造成されたトドマツ・カラマツ等の人工林となっている。しかし、道内有数の寒冷地帯であり、厳しい気象条件の影響等から、人工林等においては期待した成長が見込めず、天然広葉樹との混交林化が進んでいる林分が見られるとともに、チシマザサが侵入し、笹生地又は疎林化した森林も分布している。</p> <p>これらの森林については、大部分が保安林となっており、地域の水源地として、また、基幹産業である農業の振興に資する観点で重要な役割を担っていることから、水源かん養機能の発揮が求められている。</p> <p>また、優れた山岳景観を有し道立自然公園となっている天塩岳のほか、ピヤシリスキー場などがあり、登山やスキー、森林散策等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>さらに、この地域は、林業・木材産業が農業に次ぐ第一次産業として発展してきたところであり、森林認証の取得等の取組がなされているなど、国有林に対しての期待もされている。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">283 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">19,562 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">71.2 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">1.6 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,798,516 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	283 ha			保育面積	19,562 ha		路網整備	開設延長	71.2 km			改良延長	1.6 km	総事業費			2,798,516 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	283 ha																				
		保育面積	19,562 ha																				
	路網整備	開設延長	71.2 km																				
		改良延長	1.6 km																				
総事業費			2,798,516 千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	21,421,815 千円																					
	総費用(C)	3,264,051 千円																					
	分析結果(B/C)	6.56																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考えている。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能(特に水源かん養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	後志胆振森林計画区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、北海道の中央から南西部に位置する後志胆振森林計画区の国有林野129,930haである。</p> <p>この地域は、ボンネアンチシ山(1,145m)を最高峰とする積丹半島脊梁山稜の南西部に位置する森林と、ニセコアンヌプリから雷電峠まで続くニセコ火山群、雷電火山群に連なる峰に形成されている岩内地域と、三角山から無意根山、中山峠等に続く山稜に位置する森林と、貫気別岳周辺等の森林に分かれている倶知安地域及び、中山峠から美笛峠、ホロホロ山、オロフレ山までの山稜、また、それから分かれた鷲別岳及び登別温泉に続く山稜に位置する森林と、有珠山及び洞爺湖周辺等の森林に分かれている室蘭地域さらに、北限のブナ林が成立しており、本州日本海側のブナ・チシマザサ群集と組成的に同質とされる天然林が分布している黒松内地域からなる。これらの森林については、森林の8割がブナ・イタヤカエデ・カンパ類等の広葉樹天然林を主体とし、2割は主に昭和30年代以降に造成されたトドマツ・カラマツ等の人工林となっている。</p> <p>これらの森林については、大部分が保安林となっており、地域の水源地として、また、沿岸漁業が盛んな日本海及び内浦湾の漁場の保全等に資する観点で重要な役割を担っていることから、水源かん養機能の発揮が求められているほか、火山を有していることや急峻な地形が多いことから、山地災害防止機能の発揮も求められている。</p> <p>また、火山や湖沼、森林、海岸などの自然美に富んだ景勝地が多く、支笏洞爺国立公園、ニセコ積丹小樽海岸国立公園及び狩場茂津多道立自然公園に指定されていること等から、登山やスキー、森林散策等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。さらに、北限のブナ林、大平山の石灰岩植生等の貴重な自然環境を有している。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">662 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">5,815 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">19.4 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">— km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,045,690 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	662 ha			保育面積	5,815 ha		路網整備	開設延長	19.4 km			改良延長	— km	総事業費			1,045,690 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	662 ha																				
		保育面積	5,815 ha																				
	路網整備	開設延長	19.4 km																				
		改良延長	— km																				
総事業費			1,045,690 千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	7,623,114 千円																					
	総費用(C)	1,386,168 千円																					
	分析結果(B/C)	5.50																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考えている。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能(特に水源かん養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						